

環境保護の実行管理の仕組みであるPDCAサイクルのC (Check) の機能として、各組織単位での環境セルフチェックと社内監査部門による第三者的な環境監査を毎年行っています。

## 環境セルフチェックの実施

### <108項目についてチェックを実施>

NTT西日本、NTTマーケティングアクトグループ、NTTネオメイトグループ各組織における環境法規制の遵守状況、実行管理プログラムの実施状況など、環境保全対策の定着度を自組織により検証することを目的として、チェック項目108項目について、2005年5～6月に実施しました。

### <不適合事項については是正処置>

NTT西日本、NTTマーケティングアクトグループ、NTTネオメイトグループ各組織にてセルフチェックを実施した結果、一部組織において以下のような不適合事項がありました。実施後、組織毎に改善計画を立て、是正処置を実施しています。

なお、各種改善取り組みの結果、前年度に比べて不適合事項は減少傾向にあり、継続的改善に向けて取り組んでいます。

環境セルフチェック実施結果による不適合事項例

A:法令、行政指導に関わる項目	B:社内規定に関わる項目	C:その他の項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆廃棄物処理法関連</li> <li>・マニフェスト伝票の保管不備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙100%配合再生紙の使用の不徹底</li> <li>・不要時における消灯の不徹底</li> <li>・空調機の不適正な温度設定</li> <li>・パソコンの省エネ設定の不徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別古紙のリサイクル業者への委託の不徹底</li> </ul>

### <監査員の養成(セミナーの開催)>

環境監査として実施している「環境セルフチェック」の一層の強化を図るため、環境監査スキルの修得を目的として、環境セルフチェック実施責任者を対象にセミナーを開催しました(2005年4月20日)。

カリキュラムは、環境監査の方法、環境関連施設の環境影響、環境関連法などに関する講義とセルフチェックの演習を盛り込みました。

セミナーの最後に修得度チェックを行い、一定以上のレベルに達した受講者をセルフチェックの実施責任者の条件としています。

環境負荷の大きいNTT西日本各支店、NTTマーケティングアクトグループ、NTTネオメイトグループ各社計163人が受講し、修得度チェックで全員が合格しました。

## 内部監査部門による監査

2004年度は、環境関連法規制が年々厳しくなっていることを踏まえ、環境関連業務の中でも特に法律に関わる部分を中心に、監査部門による監査を実施しました。

監査実施の結果、産業廃棄物マニフェスト伝票の記入不備、産業廃棄物処理委託契約書への収集運搬業・処分業許可証写しの添付漏れなどについて改善措置が求められ、改善が図られました。

なお、各種改善取り組みの結果、前年度に比べて不適正事項は減少傾向にあり、継続的改善に向けて取り組んでいます。